



「みんなと戦い、みんなと勝つ」

高校生プロキックボクサーの挑戦

塚本 紗彩 さん

(門井・17歳)



通るべき道だと思っていた
キックボクシング

「どんなに辛くても、試合で勝てば全てが報われる」と、プロとしての意識の高さと自覚を持って話してくれたのは、高校生キックボクサーの塚本紗彩さん(ドージョー☆シャカリキ所属)。

兄がジムに通っていたこともあり、物心がつく前からキックボクシングを見ていました。当然自分もやるものだと、4歳でキックボクシングのキャリアをスタート。アマチュア時代に100試合近い経験を積み、16歳でプロデビューを果たしました。デビュー戦となったのは、昨年12月に行われた「CHAMPIONS CARNIVAL 2020」で、見事勝利を飾っています。

リングを降りれば
普通の高校生

塚本さんは、普段は学校に通い授業を受け、何気ないことで笑ったり、ちょっとしたことでも悩んだりするどこにでもいる高校生。

「学校やジムでうまくいかないことがあるとすぐ落ち込んでしまい、メンタルが弱いなと思って、さらに落ち込みます。そんな時、励ましてくれたのは家族やチーム、そして友だち。私をがんばらせてくれる大切な仲間です」と塚本さん。強さの秘訣はここにありました。

みんなと勝ち取る
チャンピオンベルト

試合が近づき、追い込みの減量が始まると、母にオリジナルの減量メ



ニューを作ってもらいます。低カロリーなことはもちろん、栄養もしっかり補ってください。

プロになってからは、筋力トレーニングも本格的に開始し、相手に効果的な技の練習も取り入れました。

「プロになることは、小さいころからの夢でした。これからは試合に勝ち続け、メンタル面で支えてくれる友だちやジムの仲間、食事や体調管理で支えてくれる家族、技を教えてくれる先生たちなど、応援してくれる全てのみんなに恩返しをしたいです。そして、みんなと女子チャンピオンのベルトを取りに行きます。」

新たな目標に向かって、塚本さんの挑戦は始まったばかりです。

次戦

8月28日(土)
「RISE EVOL 9」